



Bbox ブイグテレコムチーム/株式会社シクリズムジャパン

プレスリリース

**新城幸也選手、イタリア一周レース『ジロ・デ・イタリア』（5月8日～30日）を完走。
仏、伊の両“グランツール”（国一周レース）を完走した初の日本人に。**

フランスの強豪プロ自転車ロードレースチーム「Bboxブイグテレコム」チーム所属の**新城幸也**（あらしろゆきや）が、イタリア一周レース「**ジロ・デ・イタリア**」2010（総走行距離 3418km）を総合 93 位で完走致しました。

世界 3 大グランツール（国を一周するレースのこと）の一つであるイタリア一周レース『ジロ・デ・イタリア』は、5月8日にオランダで開幕し、世界有数の超難関山岳コースを通過後、30日にイタリアの世界遺産都市ヴェローナにゴール。3週間にも及ぶ死闘が世界各国のスポーツファンをくぎ付けに致しました。

この新城の「ジロ・デ・イタリア」完走は、昨年の「ツール・ド・フランス」完走に続く快挙であり、フランスとイタリアの両グランツールを完走した日本人は自転車ロードレース史上初。さらに第 5 ステージでは、日本自転車ロードレース史上最大の出来事ともいえるステージ 3 位を記録し、今後日本人選手が世界で戦って行ける事を世界に証明致しました。

新城幸也のコメント

「ツール・ド・フランスとはまた一味も、というか全く違う（笑）世界を見ることが出来ました。天候やコースが厳しかったのは確かですが、やはりグランツールともなると周りの選手の“本気度”が凄まじく、いい勉強になりましたね。（レース期間中の）日本の皆さんからの応援が本当にありがたく、ブログへのコメントを見てモチベーションを密かに上げていました。（7月のツール・ド・フランス出場？についての問いに対して）まだ出場できるかは全く分かりませんが、いつ呼ばれても良いように最高のコンディションに仕上げてゆきますよ。調子はとても良いですよ！！」

チームの総監督、ジャン＝ルネ・ベルノドーのコメント：

「率直な所、驚きとしか言いようがない素晴らしい結果だった。ユキヤはジロ・デ・イタリア初出場で、コンディショニングに関しても春先にコンディションを落とした流れだったので、無事完走出来れば上出来だと思っていた。ところが第 5 ステージでは 3 位。しかもあの逃げを主導した展開の後のこの結果は非常に価値があると言えるだろう。さらに 13 位を 2 度経験し、非常にアグレッシブで狡猾、隅に置けないジャポネ（日本人）だと云うことがバレーしてしまったね（笑）これから続く数年間、いや 10 年以上？ユキヤの名前をヨーロッパで聞くことが多くなることだろう。

ジロ全体を通してはトマ・ヴォクレールの 2 位や、とりわけ“女王ステージ(etape de reine=最難関ステージの意味)”にてヨアン・チョップが優勝するという、もうチーム史上最高のジロ・デ・イタリアとなったよ！。この流れをツール・ド・フランスでも維持したいね。」

本件に関してのお問合せ先：

株式会社シクリズムジャパン

(<http://www.cyclisme-japon.net>)

Bboxブイグテレコム広報窓口

担当：山崎健一

kyamazaki@cyclisme-japon.net